

井関農機株式会社

第103期中間報告書

2026年1月1日 ▶ 2026年6月30日



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびの熊本県で発生した地震や各地で発生した豪雨などの自然災害により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、当社グループは、「農家を過酷な労働から解放したい」という創業者の想いを原点として、100年にわたり歩みを進めてきました。このたび、その長い歴史を有する企業で経営の舵取りを担う立場となり、重責に身が引き締まる思いです。

私は開発部門でのモノづくりを皮切りに、海外事業や国内販売会社の経営など、さまざまな現場で経験を重ねてまいりました。現場で培った経験と経営で培った俯瞰的な視点の双方を活かしながら、プロジェクトZの責任者として、変革を着実に進めてまいります。

当社グループは、農業を軸としながら、景観整備などのNon-Agri分野にも領域を広げ、グローバルに事業を展開しています。今後も、お客さまに対してハードだけでなく、ソフト面も含めたソリューションの提案を行うとともに、事業領域のさらなる拡大に向けて果敢に挑戦し、持続的成長と企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

PROJECT Z

変革

『新しい100年に向けて…』

代表取締役
社長執行役員

小田切 元



業績のポイント

☑ 売上高：海外の売上拡大に加え、為替影響もあり増収

国内：受注好調も一部生産が追いつかず減収、作業機・メンテナンス収入は続伸

海外：成長戦略の軸である欧州で売上拡大

☑ 収益：プロジェクトZと価格改定の効果で利益率改善

2026年12月期中間期連結業績ハイライト

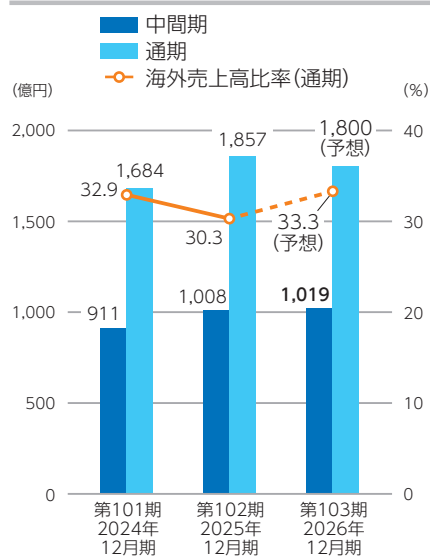
売上高 **1,019** 億円
前年同期比 +1.0%

営業利益 **55** 億円
前年同期比 +28.0%

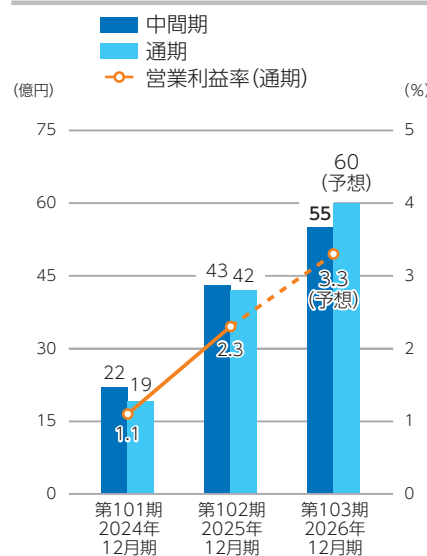
経常利益 **52** 億円
前年同期比 +37.1%

親会社株主に帰属する
中間純利益 **31** 億円
前年同期比 △5.1%

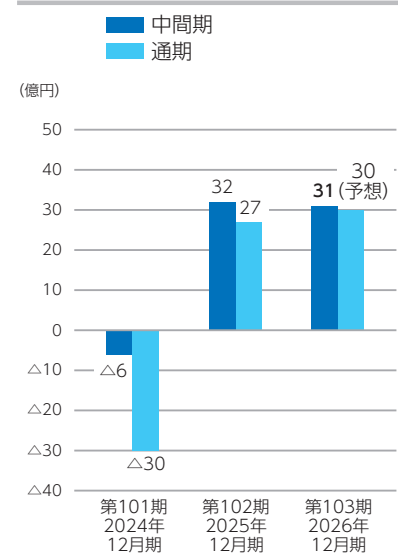
売上高・海外売上高比率



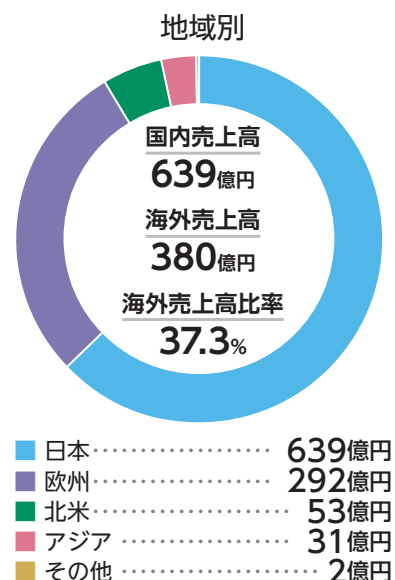
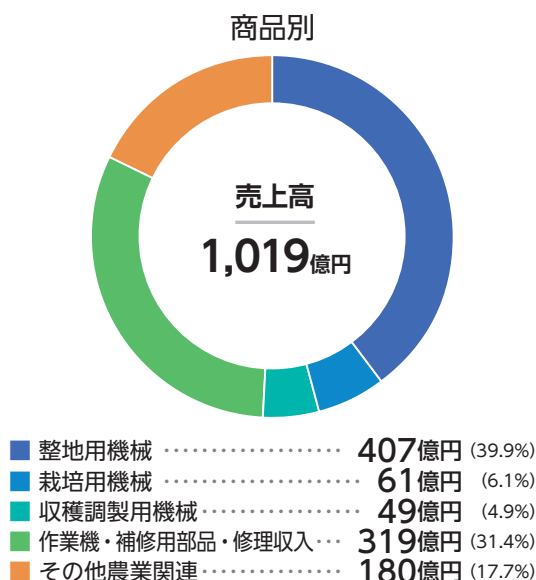
営業利益・営業利益率



親会社株主に帰属する 中間純利益



売上高構成比



聖域なき事業構造改革 ―「プロジェクトZ」について

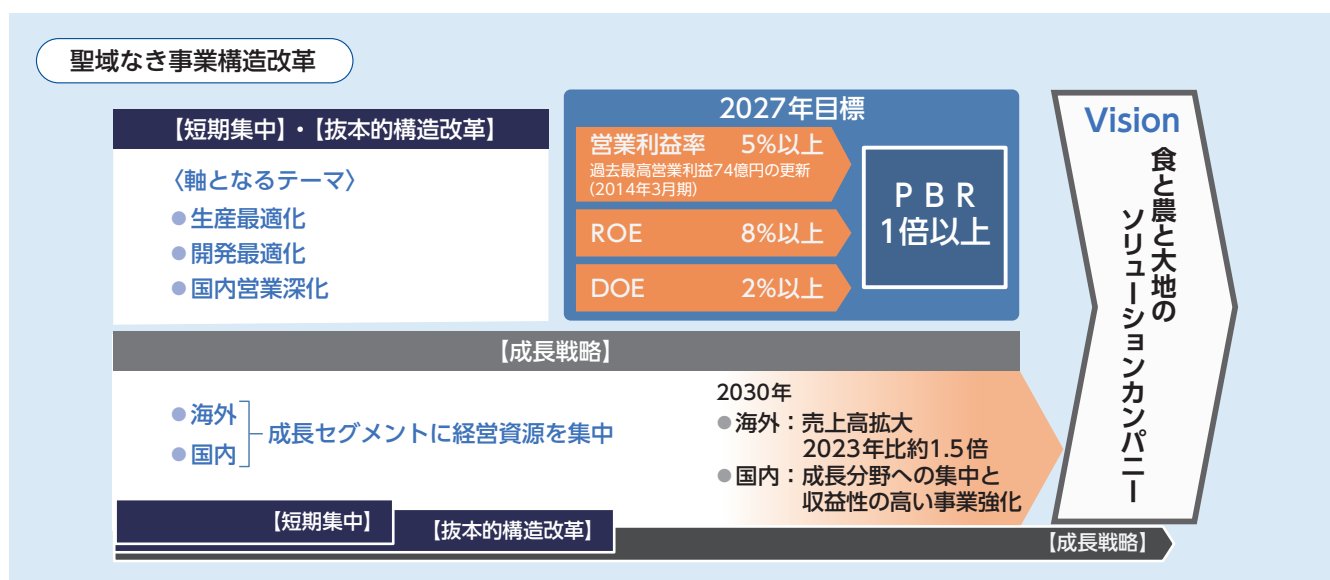
プロジェクトZ計画概要

当社グループの課題である収益性・資産効率等の改善を目的として、2024年2月に「プロジェクトZ」施策を公表し、抜本的構造改革と成長戦略の推進に取り組んでいます。

抜本的構造改革では、「生産最適化」「開発最適化」「国内営業深化」の3テーマを軸に、収益性・資産効率の改善を進めてきました。

こうした構造改革の成果を基盤として、2026年からは成長戦略に軸足を移し、国内外の成長分野へ経営資源を集中することで、持続的な成長と収益力の向上を図ります。

本施策の遂行により、2027年までに営業利益率5%以上・ROE8%以上・DOE2%以上を達成し、PBR1倍以上の実現を目指します。



プロジェクトZ進捗状況

抜本的構造改革の施策は、概ね計画通り進んでいます。

2026年上期にはコンバインおよび主要部品の生産拠点集約・移管を実行しました。

松山でのコンバイン生産は6月から量産開始、機種ごとに順次本格化させていきます。

成長戦略については、「欧州事業」と「大型機戦略」にフォーカスし、次ページでご紹介いたします。

	軸となるテーマ		2026年上期までの成果と2027年にに向けた進捗
抜本的構造改革	生産最適化	■生産拠点再編	＞コンバイン・油圧機器生産移管を計画通り実行、順次量産へ移行 ＞生産機種集約に向けた設備投資・体制整備を継続
	開発最適化	■製品利益率改善 ■開発の効率化	＞製品利益率改善は一部遅れがあるものの、対象範囲・手法を拡大し、当初計画水準の実現に向け取り組みを継続 ＞機種・型式削減は計画通り進捗
	国内営業深化	■成長戦略への基盤作り	＞ISEKI Japan統合シナジー創出に向け販売・物流改革を推進 ＞棚卸資産の圧縮は計画を上回る進捗
	強靱な企業体質への変革	■人員構成の最適化と人的資本投資 ■経費削減	＞人的資本投資を拡充しながら適正人員を維持 ＞経費は計画水準を維持
成長戦略	成長セグメントに経営資源を集中	海外 ■地域別戦略の展開	＞欧州事業は売上拡大が進捗、3社連携によるシナジー創出に着手 ＞アセアンでの新規市場開拓
		国内 ■成長分野への集中	＞「大型」「先端」分野は販売計画を達成、草刈商品の拡販を推進 ＞大型トラクタ・コンバイン・田植機 新商品を市場投入

海外成長戦略【欧州事業】

海外の最重要市場である“欧州”は、ISEKIの高収益成長ドライバー

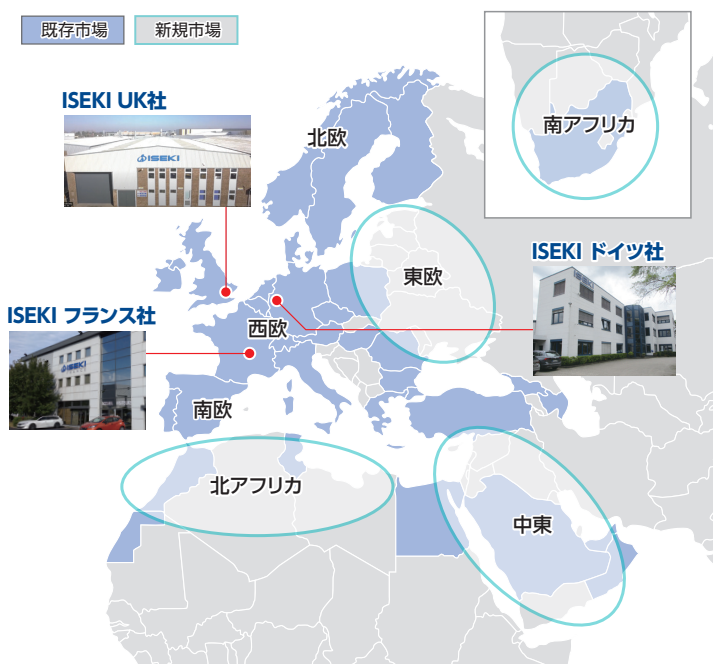
欧州は当社グループにとって最大の海外市場であり、今後の成長を牽引する重要な事業エリアです。

足もとでは、欧州子会社3社の連携強化によるシナジー創出を進め、既存市場における販売拡大と収益力向上に取り組んでいます。

2028年から2030年にかけては、電動・ロボット製品の拡販に加え、中東・アフリカ市場への展開を加速することで、新たな成長機会の創出を図ります。

さらに、成長分野への投資や販売ネットワークの拡充を通じて事業基盤を強化し、欧州市場におけるブランド力と市場シェアの向上に取り組めます。

これらの施策を着実に推進し、2030年に海外売上高800億円、うち欧州売上高470億円以上の達成を目指します。



▶ 海外売上目標 (2030年)
800億円
● 海外売上高比率40%以上

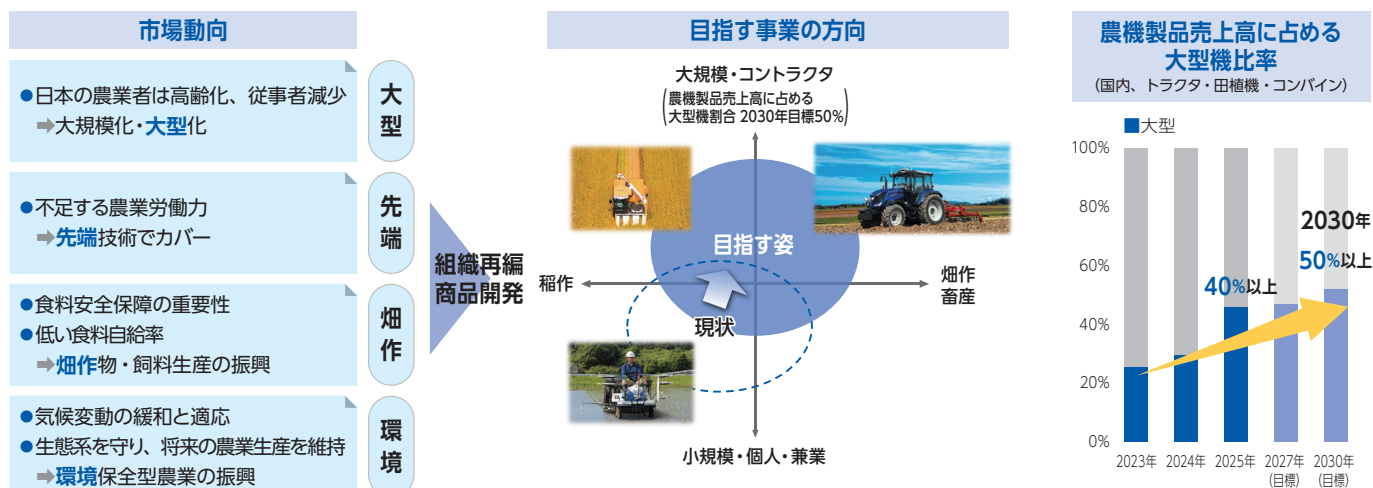
▶ 欧州売上目標 (2030年)
470億円以上
● 海外事業の成長を牽引

2025年

- ▶ 海外売上金額
563億円
- ▶ 欧州売上金額
385億円

国内成長戦略【大型機戦略】

“大型機戦略”により、安定収益を基盤とする収益構造へ転換



農業経営の大規模化や食料安全保障、気候変動など、市場動向を踏まえ、当社は「大型」「先端」「畑作」「環境」の成長分野に経営資源を重点投入しています。

なかでも大型農業機械は、高い製品収益性に加え、販売後の保守・点検需要が大きく、メンテナンス収入を含めたライフサイクル全体で安定的な収益を生み出す重要な事業領域です。下期にはトラクタ・田植機・コンバインの大型フラッグシップ機「JAPANシリーズ」の新商品を市場に投入します。既に多くの受注を獲得しており、2030年の目標として掲げている大型機比率50%以上については、前倒しでの達成を見込んでいます。

大型商品の拡販【JAPAN三銃士 新商品投入】



JAPAN 三銃士 勢揃い!!

2026年下期新商品発表会にてJAPAN三銃士を発表いたしました。

農業経営の大規模化と人手不足を背景に、高能率・高付加価値の大型機種へのニーズは拡大しています。

当社としても、大型機は重要な成長分野と位置付けており、新型JAPANを筆頭に大型機種の売上拡大に取り組んでまいります。

JAPAN BJ series



大規模稲作農家や中規模畑作・酪農生産者を主なターゲットとした大型クラスのトラクタについて、このたびモデルチェンジを実施し、新型機を発売いたします。

「トラクタJAPANシリーズ」は、「高能率・高精度」をコンセプトに、プロ農家の皆さまの多様な作業を支えてきたモデルとして高い評価をいただいています。

今回のモデルチェンジではトランスミッションの無段変速化を実現し、作業効率の向上とオペレーター負担の軽減を図りました。これにより、担い手農家の皆さまが求める高い生産性と快適な作業環境の実現にさらに貢献します。2001年の初代モデルTJ75の発売以来、25年間にわたり培ってきた技術とノウハウを結集した本モデルはJAPANシリーズの集大成として、当社が自信をもってお届けするフラッグシップトラクタです。

JAPAN PJ series



大規模稲作農家を主なターゲットとした田植機PJシリーズについて、このたびモデルチェンジを実施し、湿田での走破性向上とスマート農機機能の充実を図った新型機を発売いたします。

PJシリーズは、JAPANコンセプトである「高精度・高能率・高耐久」を追求した田植機として、多くの大規模生産者の皆さまから高い評価をいただいています。

今回のモデルチェンジでは、フロントエンジンレイアウトの採用により湿田での走破性を向上するとともに、従来を超える高速植付けを実現しました。作業時の負担軽減を目的とした「さなえパイロットアシスト」を新たに搭載し、オペレーターの疲労軽減と作業性向上に貢献します。

PJシリーズのさらなる進化を通じて、担い手農家の皆さまの高効率経営の実現に貢献してまいります。

JAPAN HJ series



プロ農家を主なターゲットとした大型コンバインHJシリーズについて、このたびモデルチェンジを実施し、基本性能と居住性をさらに高めた新型機を発売いたします。

HJシリーズは、JAPANコンセプトである「高精度・高能率・高耐久」を追求したフラッグシップコンバインとして、多くの大規模生産者の皆さまから高い評価をいただいています。

今回のモデルチェンジでは作業効率などの基本性能をさらに磨き上げるとともに、快適な作業環境を実現する居住性の向上を図りました。加えて、操作性やメンテナンス性も向上させることで、オペレーターの負担軽減と高い生産性の両立を実現し、担い手農家の皆さまの大規模経営を力強く支援します。

1995年の「フロンティア JAPANシリーズ」誕生以来、30年にわたり追求してきたJAPANコンセプトの技術とノウハウを結集した本モデルは、当社コンバイン開発の集大成として、自信をもってお届けするフラッグシップコンバインです。

TOPICS

株主・投資家の皆さまとの対話活動（2026年上期）

▶株主・投資家の皆さまに当社事業の取り組みについて理解を深めていただくため、さまざまな活動に取り組んでいます。

■ 個人投資家さま向け説明会

2026年6月13日にログミーFinance主催「個人投資家向けIRセミナー」に登壇し、当社の事業展開や成長戦略への理解を深めていただく機会となりました。

説明内容

農業・景観整備というエッセンシャルな領域を担う井関グループの事業展開や井関の成長ストーリー「プロジェクトZ」についてご説明しました。

公開資料

● 動画 ▶



● 書き起こし ▶



- 動画 : <https://www.youtube.com/live/tb75-mzNCsU?t=11753s>
- 書き起こし : <https://finance.logmi.jp/articles/385129>

■ 事業説明会

2026年4月20日に成長戦略に関わる事業説明会をオンラインで開催し、井関グループの中長期的な成長戦略と具体的な取り組みについてご説明しました。

説明会のテーマ

- 海外成長戦略 ～欧州事業について～
- 国内成長戦略 ～大型機戦略について～

公開資料

● 動画 ▶



● 書き起こし ▶



- 動画 : <https://www.iseki.co.jp/ir/management/zplan/#link1>
- 書き起こし : <https://finance.logmi.jp/articles/384473>

欧州の景観整備を支える製品

草刈り、管理作業

緑地整備（公園、スポーツフィールドの草刈りなど）



清掃、除雪作業

道路清掃や除雪、落ち葉収集作業など



TOPICS

統合報告書「ISEKIレポート2026」の発行

▶当社の価値創造ストーリーや成長戦略、サステナビリティへの取り組みなどをまとめた統合報告書「ISEKIレポート2026」を発行しました。ぜひご覧ください。

POINT1：新たな経営体制のスタート

2026年3月27日付で新たな経営体制が発足しました。トップインタビューでは、会長・社長の抱負や今後の取り組みについて記載しています。

POINT2：長期ビジョン達成に向けた戦略の実行

長期ビジョンで掲げる「『食と農と大地』のソリューションカンパニー」の実現に向けた戦略や取り組みの進捗をご紹介します。

POINT3：経営基盤強化に向けた取り組み

社外取締役座談会などを通じて、企業価値向上に向けた取り組みをご紹介します。

※ポイントの詳細は、ISEKIレポート2026のP3にてご紹介しています。



プロジェクトメンバーが選んだ見どころもご紹介しています

【ISEKIレポート掲載ホームページ】

<https://www.iseki.co.jp/ir/library/report/>

【Webアンケートへのご協力をお願い】

ISEKIレポートの改善・さらなる充実に向け、ご意見・ご感想をお聞かせください。

所要時間：約1～2分

<https://forms.cloud.microsoft/r/15LqY8ZwUN>



TOPICS 女性活躍推進宣言

当社では、多様な人材がそれぞれの能力を発揮し、活躍できる職場づくりを進めるため、「女性活躍推進宣言」を発出しました。女性活躍を重要な経営課題の一つとして位置付けるとともに、誰もが健康で安心して働き、挑戦できる環境の整備を進めてまいります。

今後は、職場環境の整備やキャリア形成支援、ワーク・ライフ・バランスの推進などを通じて、多様な人材が活躍できる企業風土の醸成を図り、企業価値の向上につなげてまいります。

【女性活躍推進宣言掲載ホームページ】

<https://www.iseki.co.jp/cms/upload/pdf/sustainability/womens-empowerment-declaration.pdf>



井関農機公式マスコットキャラクター
「さなえちゃん」

株主様
向け

井関グループ 施設見学会のご案内

株主の皆さまに井関グループへの理解をより一層深めていただくことを目的として施設見学会を開催いたします。

今回の会場は、日本農業の課題に対応した最先端のスマート農業や環境に配慮した栽培技術の研究・実証・情報発信拠点である当社の「夢ある農業総合研究所」を予定しております。

募集要項は以下の通りです。

開催概要

開催日時

2026年12月11日(金) 13時開始～16時終了予定

開催場所

当社つくばみらい事業所 (夢ある農業総合研究所)
住所：茨城県つくばみらい市青木560

対象者

2026年6月末現在、当社株式100株以上をご所持の株主様ご本人
※ご同伴者(小学生以上)は1名様まで可能

人数

ご同伴者様含め50名様
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます

参加費

無料
※会場までの往復交通費は株主様のご負担とさせていただきます



応募方法

2026年10月16日(金) 締切

右のURLもしくは二次元コードより申込フォームに
アクセスいただき、必要事項をご入力ください。

<https://forms.office.com/r/jip5Xs5U1D>



バリアフリー等の対応について — 会場での配慮が必要な方は、ご応募の際、その旨をご記入ください。

参加のご連絡

ご応募多数の場合は抽選とさせていただきます。結果はご応募いただいた株主様に2026年10月下旬頃メールにてご連絡いたします。

- ご応募により取得する個人情報は、本見学会を実施するうえで必要な限りにおいてのみ使用いたします。
- 自然災害発生など諸般の事情により、中止とさせていただきます場合がございます。開催中止の場合、ご応募いただいた株主様へご連絡いたします。
- 本見学会の様子は、当社ホームページにて後日掲載いたします。

お問い合わせ先

井関農機(株) 総務部

電話

03-5604-7606

(受付時間9:00～17:00土日祝を除く)

メール

setumeikai@iseki.co.jp

会社の概要 (2026年6月30日現在)

会社概要

社 名	井関農機株式会社
本 社	愛媛県松山市馬木町700番地
本 社 事 務 所	東京都荒川区西日暮里5丁目3番14号
創 立	1926年（大正15年）8月
資 本 金	233億4,474万円
従業員数(連結)	5,112名
事 業 内 容	つぎの製品の製造および販売
整地用機械	トラクタ、乗用草刈機、耕うん機・管理機、乗用管理機
栽培用機械	田植機、野菜移植機
収穫調製用機械	コンバイン、バインダ、籾すり機、計量選別機
作業機・補修用部品・修理収入	国内外作業機メーカー等の商品、補修用部品、修理・メンテナンス
その他農業関連	施設工事、農業用資材、コイン精米事業、炊飯事業、その他仕入商品

役員

	氏 名	地 位
取締役	富 安 司 郎	代表取締役 会長執行役員
	小田切 元	代表取締役 社長執行役員
	神 野 修 一	取締役 常務執行役員
	谷 一 哉	取締役 常務執行役員
	岩 崎 淳	取締役
	木曾川 栄 子	取締役
	岸 本 史 子	取締役
	阿 部 裕 之	取締役
監査役	藤 田 康 二	常勤監査役
	森 本 健太郎	常勤監査役
	高 橋 一 真	常勤監査役
	山 下 泰 子	監査役

株式に関する事項

(1)発行可能株式総数	69,000,000株
(2)発行済株式の総数	22,873,425株 (自己株式111,568株を除く)
(3)株主数	18,434名
(4)大株主（上位10名）	

株 主 名	持 株 数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,735,000株	7.59%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	1,110,700	4.86
株式会社みずほ銀行	1,070,800	4.68
セキ株式会社保有会	1,026,622	4.49
農林中央金庫	868,785	3.80
三井住友信託銀行株式会社	800,000	3.50
井関営業・販社グループ社員持株会	750,900	3.28
株式会社伊予銀行	580,042	2.54
損害保険ジャパン株式会社	434,500	1.90
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	371,086	1.62

- (注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 株式会社日本カストディ銀行（信託口）には、役員向け株式交付信託による保有株式が240,700株含まれております。

主要な事業所および子会社

① 当社

名 称	所 在 地
本社	愛媛県松山市
本社事務所	東京都荒川区
砥部事業所	愛媛県伊予郡
熊本事業所	熊本県上益城郡
つくばみらい事業所	茨城県つくばみらい市
茨城センター	茨城県稲敷郡

② 子会社

名 称	所 在 地
株式会社 ISEKI Japan	東京都荒川区
群馬セキ販売株式会社	群馬県前橋市
株式会社ISEKIアグリ	東京都荒川区
ISEKI France S.A.S.	フランス ピュイドーム県 オービエール市
ISEKI-Maschinen GmbH	ドイツ ノルライン＝ヴェストファーレン州
ISEKI UK & Ireland Limited	イギリス サフォーク州 イプスウィッチ市
IST Farm Machinery Co.,Ltd.	タイ パトゥムターニー県
株式会社ISEKI M&D	愛媛県松山市
株式会社井関新潟製造所	新潟県三条市
PT. ISEKI INDONESIA	インドネシア 東ジャワ州 パスルアン県
株式会社井関重信製作所	愛媛県東温市
北日本床土株式会社	北海道上川郡
株式会社井関物流	愛媛県松山市
株式会社ISEKIトータルライフサービス	東京都荒川区

株 主 メ モ

事 業 年 度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月下旬

基 準 日 定時株主総会・期末配当：毎年12月31日

株 主 名 簿 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
管 理 人 三井住友信託銀行株式会社

特 別 口 座 の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
(電話照会先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

● 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

